



明けまして おめでとうございます



あ

けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の市政運営に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、浦添市は1970年7月1日に浦添村から市へ昇格して誕生し、今年市制施行55周年の節目を迎えます。4万2千人ほどだった当時の人口は、宅地造成や企業立地が進み、現在では人口11万5千人と大きく発展してまいりました。

更に昨年は、ただ浦西駅周辺地区において、「イオンスタイルでだこ浦西駅前店」がグランドオープンし、基地跡地利用についてはGW(ゲートウェイ)2050 PROJECTS 推進協議会が設立されるなど、今後の浦添市の発展へ繋がる大きな変化がみられた一年となりました。

そして、これまでの歴史を振り返り現在の浦添を見渡すと、都市基盤の整備をはじめとしたハード面の目覚ましい発展や、福祉、子育て、教育などのソフト面での時代に即した拡充など、さまざまな分野で成果が現れております。

このような本市の発展は、これまで多くの市民や各種団体、企業の皆さまが、それぞれの立場から一つひとつ築いてこられた結果であり、魅力ある浦添市を目指して取り組んで

あ

けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より本市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、昨年は能登半島地震、能登半島豪雨および沖縄北部豪雨と自然災害に見舞われた一年でありました。犠牲になられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被害に遭われた皆さまの一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、特に印象的であったのは、地域の子どもの活躍でした。文化・スポーツ分野における各種受賞をはじめ、子どもたちのさまざまな活動報告を目にする度に大変嬉しくなりました。

市議会におきましては、10年ぶりに「第4回でだこ子ども議会」が開催され、27人の市内中学生が、生徒の目線で地域への関心を深め、浦添市の将来について考え、議会で質問や提案を行いました。生徒たちの熱心に取り組む姿を拝見し、我々が目指す社会は、無限の可能性のある子どもたちがのびのびと希望をもって夢を描ける社会であるべきだと改めて痛感いたしております。

明るい話題があった一方で、安心した暮らしを守るこの大切な考えさせられる年でもありました。特に、未だ歯止めが利かない物価高騰は、家計への影響が深刻さを増しています。しかしながら、このような厳しさの中にあっても、市民・企業の皆さまにおかれましては、日々のためめ努力によっ

こられた皆さまの成果でございます。これまで本市のまちづくりを支えていただいた全ての皆さまに對しまして、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

本市としましては、これまでの歴史を振り返りながら、先人が築いてこられた浦添の魅力を変えて見つめ直し、更なる子育て政策の充実や教育環境の整備などに取り組み、市民の皆さまとまた一歩未来へ進んでいくための一年にしたいと考えております。市民並びに各種団体、企業の皆さまには、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健康と2025年が皆さまにとりまして、夢と希望にあふれた素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のご挨拶



浦添市議会議員
比嘉 克政
Katsumasa Higa



浦添市長
松本 哲治
Tetsuji Matsumoto

て、日常生活を堅持し続けておられることに本当に頭の下がる思いであります。

市議会では、これらの課題と真摯に向き合い、議員に課せられた職責を改めて見つめ直し、議会と行政が互いの知恵を出し合って、市民生活や福祉の向上につながる施策を導き出せるよう、議員一丸となって力を結集してまいります。

これまで以上に、市民の皆さまの多種多様な意見を市政に適切に反映させることができますよう、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図ることはもとより、地域に寄り添った身近な存在である市議会を目指してまいります。

本年は議員改選の年となりますが、任期最後まで使命感をもって全力を尽くしてまいりますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が市民の皆さまにとりまして最良の年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。